

Low preoperative hemoglobin A1c level is a predictor of perioperative infectious complications after esophagectomy: A retrospective, single-center study

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2024-06-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 加藤, 大貴 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003661

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2854 号

Low preoperative hemoglobin A1c level is a predictor of perioperative infectious complications after esophagectomy: a retrospective, single-center study

術前 HbA1c の低値は食道切除術後の周術期感染性合併症の予測因子である：単施設後方視的研究

加藤 大貴 (かとう だいき)

博士 (医学)

論文内容の要旨

食道外科手術における周術期死亡率および術後合併症率は依然として高いとされている。術後の血糖値 (BG) と術前のヘモグロビン A1c (HbA1c) の値は、それぞれ合併症発生率や死亡率に影響を及ぼすと報告されている。

この研究は後方視的に、単一施設で 176 例の食道切除術後の患者を対象に行われ、食道切除術後の 1 日最高血糖値 (max BG : mBG) 値の変化と、日毎の mBG 値および術前の HbA1c 値が周術期合併症に及ぼす影響について検討した。

最大血糖値 (mBG) は手術後初日 (POD0) に最も高かった ($p < 0.05$)。HbA1c 値が 5.6 以上の症例では、手術後 1 日目、2 日目、および 7 日目に HbA1c 正常 ($HbA1c < 5.6$) の症例と比較して高値であった ($p < 0.05$)。合併症および感染性合併症の発生率は、HbA1c 正常症例で HbA1c が 5.6 以上の症例と比較して高かった ($p < 0.05$)。さらに、ロジスティック回帰分析では $HbA1c < 5.6$ は感染性合併症の有意な予測因子であることがにより示された ($p < 0.05$)。

HbA1c 値が高い症例では、BGL は持続的に高値を示し、BGL の高値と合併症の発生との間には明確な関連が認められなかった。一方で、HbA1c が正常範囲の症例は感染性合併症の独立した危険因子であることがわかった。